

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

下部食道括約筋機能障害に対する経口及び経鼻内視鏡を用いた機能内視鏡検査法 Endoscopic pressure study integrated system (EPSIS) の有用性に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年9月1日から2023年10月10日に昭和大学江東豊洲病院消化器センターで経口・経鼻 EPSIS を受けた成人の患者さん

ただし、受診時に妊娠中、カラシアなどの LES 弛緩不全を有する患者さんは対象外です

2. 研究目的・方法

経口内視鏡（通常径の内視鏡）による EPSIS は食道と胃のつなぎ目を締める機能を評価するために有用です。経鼻内視鏡（細径の内視鏡）でも同様に EPSIS を行うことができるかを明らかにすることが本研究の目的です。これまでに当院で経口内視鏡と経鼻内視鏡での EPSIS を受けられた患者さんの検査データを用いて、それらを比較することで、経鼻内視鏡での EPSIS の有用性の検討を行います。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、身長、体重、診断、手術歴、EPSIS 施行日、使用した内視鏡の種類、内視鏡所見、経口・経鼻 EPSIS 所見、内服薬

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 消化器外科 井上 晴洋

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 消化器内科 氏名：東 大輔

住所：東京都江東区豊洲5-1-38 電話番号：03-6204-6426